

令和6年度 牛川小学校グランドデザイン

自ら学び、深く考える
ことができる子

自ら学ぶ

自信
誇り
自立心

思いやりの気持ちをも
って周りと接すること
ができる子

ゆたかな心

①問題解決的な学習の基盤づくり

- ・基礎基本の定着を図る
- ・トークタイムを核とし、話し合い（話すこと・聴くこと）の充実を図る
- ・子どもが追究したくなる授業、わくわくする授業を展開する

②学びのツールとしての ICT 活用

- ・ICT のよりよい活用法を学び合い授業に取り入れる
- ・調べ学習や学習における周りとの情報共有ツールとしての有効活用を図る

③教師の授業力向上

- ・子どもの思いや願いを大切にした授業づくりについて研修し、実践し、全教職員で学び合う

①規範意識の育成

- ・発達段階に応じた「当たり前」とは何かを考える場を設定し、当たり前のことが当たり前に行えるよう、教育活動全般で育てていく
- ・挨拶の必要性を伝えるとともに、自主的なあいさつ運動の発展継続を推奨する

②温かな気持ちで人と関われる心の育成

- ・縦割り活動の中で異学年集団との関わりを深める
- ・特別支援学級との交流を大切にする
- ・多様性の尊重と受容。自他の命を大切にし、性別、文化、考え方の違いを受容できるように道徳授業の充実を図る

③企画・運営力の向上

- ・児童会活動、委員会活動、学年、学級での自発的な取り組みを推奨していく

心身の健康に努め、心身とも
に鍛え、成長できる子

じょうぶな体

①基本的な生活習慣の定着

- ・元気カードや保健だより、学年通信等で家庭にはたらきかけ、早寝・早起き・朝ごはんを励行する

②心身の健康を意識できる子の育成

- ・SST、エンカウンター、ほっとハートを活用し、人と関わり方を学ぶ場を設定する
- ・心の健康を学校保健委員会で取り上げるとともにレジリエンス教育に全校で取り組む
- ・本は心の栄養と捉え、読書好きな子を増やす取り組みを行う
- ・体育授業はもちろん、休み時間など、体を動かす機会を設け、外遊びを奨励する

③自分の命は自分で守る子どもの育成

- ・安全指導の充実と危機回避能力の向上
- ・命の尊重と「SOS の出し方に関する教育」の浸透

教職員・保護者・地域が協
働し、信頼される学校のもと
で子どもを育てる

信頼される学校

①地域教育力を生かした教育活動

- ・地域教育力を学習活動に積極的に生かす

②積極的な情報発信

- ・学校だより、学年だより、メール、学校 HP による情報発信を充実させる

③保護者・地域・職員間における信頼関係の構築

- ・個を大切にした教育の推進を図る。問題行動、いじめの情報共有を確実にし、早期解決に努める
- ・職員間の報連相を確実にし、問題の早期解決を図るとともに、職員がお互いに気持ちよく働ける環境づくりに努める

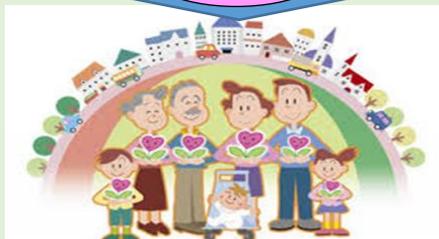
子どもたち・教職員が誇りをもてる学校づくり
～教職員・保護者・地域の協働を通して～

双方向

PTA活動

のびるん de スクール

トヨッキースクール



地域教育ボランティア

- ・ましろの会(図書ボラ)
- ・クラブボランティア ・子ども見守り隊
- ・授業お助け隊

青陵中 さくら会（評議員会）・校区自治会・健全育成会・子ども110番の家・子ども会・同窓会 等